

所信表明



6月8日、市長4期目の就任後、初の津市議会定例会の開会に当たり、前葉泰幸市長が所信表明を行いました。その主な内容を掲載します。なお、所信表明の全文については、津市ホームページでご覧いただけます。

津市 所信表明 検索



この度、市民の皆さまの負託を受け、引き続き市政の重責を担わせていただくこととなりました。全ての市民が幸せを実感できるよう市政運営に全力を傾注してまいります。



所信表明を行う前葉泰幸市長

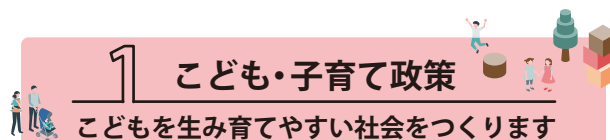
瞬く間に世界中に広がり、日常生活や地域経済を混乱に陥れた**新型コロナウイルス感染症**は、私たちの生活、行動、働き方、人と人とのつながりなどの在り方に**新たな局面**をもたらしました。ロシアによるウクライナ侵略の影響は、遠く離れた日本においても**エネルギー価格や物価の高騰**をもたらすなど世界のエネルギー情勢や経済を大きく変えてきています。温暖化による地球規模の気候危機に向けた**地域脱炭素**の動きも本格化し、**G X**(グリーン・トランスフォーメーション)の流れが加速してきています。**デジタル技術**の社会への浸透は、AIがまるで人間のように対話形式で答えるサービスが次々と提供され、新次元へと進展しています。本年4月に、国立社会保障・人口問題研究所が公表した2070年の日本の将来推計人口の結果は、総人口が9,000万人を割り込み、出生率は1.36に低下するというもので**人口減少**がさらに進むことを如実に示し、これからの社会の仕組みに大きな影響を与えるものと思います。

新しい津市の創造に向け 進んでいくための3つのビジョン

津市においては、平成の合併後、一体感の醸成や均衡のとれた地域の発展をテーマに合併時に約束された事業を進め、おおむね完了した段階にあり、今、まさに、**新たなまちの姿を描き始めるタイミング**にあります。

そして、この時代の変わり目における市政運営は、これまでの延長線上に置くのではなく、**新しい津市**を創り上げていく、その強い覚悟を持って挑んでまいり所存です。

人口減少や少子化といった課題や耕作放棄地を防ぐといった課題は、今、積極的な行動を起こさなければより厳しい状況に追い込まれます。決して現状に満足することなく、こうした課題に果敢に挑んでいく、そのスタートダッシュを、市民に最も近い基礎自治体として、どのような分野に照準を合わせていくのか。将来の津市政を展望し、**新しいステージにおける津市の創造**に向け進んでいくための、**3つのビジョン**を申し述べたいと思います。



1 こども・子育て政策

こどもを生み育てやすい社会をつくります

国が、本年6月に提示した「こども未来戦略方針」には、75年ぶりの保育士の配置基準の改善や児童手当の充実など歓迎する政策が盛り込まれましたが、残念なことにこれまで要望を重ねてきたこども医療費の無料化は含まれていません。こうした国が取り組まない領域においても、**津市独自の新たな政策**を構築してまいります。